■後陽成天皇　　**豊臣秀吉により朝廷の威信回復，細川幽斎の件で"歌道の帝王"，禁裏文庫遺すも，徳川家康により孤独な最期。**
ごようぜいてんのう
比叡山焼討・1571＝　　正親町天皇の東宮であった誠仁親王の子に生まれる。諱は和仁。

室町幕府滅亡1573＝ 2歳：

石山合戦終・1580**＝ 9歳：**

本能寺の変・1582＝11歳：

秀吉太政大臣1586＝15歳：誠仁親王が薨去し，**_皇祖父正親町天皇から譲位され，受禅した。**
ﾊﾞﾃﾚﾝ追放令 1587＝16歳：九州征伐の豊臣秀吉のに勅使を派遣，凱旋した秀吉が参内し，聚楽第に移徒。
刀狩海賊取締1588＝17歳：***豊臣秀吉とともに参内した将軍足利義昭が征夷大将軍職を朝廷に返上して，室町幕府は名実ともに滅亡し，秀吉の演出した天皇の聚楽第行幸が盛大に行われて，覇権確立を天下に知らしめた。以後，秀吉との協調・共生を重視し，秀吉の支援を受けて朝廷の再建を進めるとともに，舟橋(清原)秀賢を召して四書の進講を受け，細川幽斎からは和学を学んで，儒学や和学に造詣深くなって，公家たちの前に君臨していく。**
・・・・・・1589**＝18歳：**誕生した秀吉の嫡男鶴松に太刀を贈り，関白職を豊臣家の世襲とすることを提案するなど，卑屈状態で，
秀吉全国統一1590＝19歳：秀吉が高野山再興のために興山寺(廃寺)を開基した際，木食応其に"興山上人"の号と勅額を下賜。
士農工商公布1591＝20歳：鶴松が死去。豊臣秀次を関白とする。聖護院門跡道澄，近衛信尹らに，**_禁中の書籍を点検させ，目録を作らせて，禁裏文庫の整備に着手，**
文禄の役・・1592＝21歳：**_朝鮮出兵を開始した秀吉から，明を征服した暁には天皇を明の皇帝として北京に遷し，天皇の第一皇子を日本の天皇にするという構想を聞かされるが，外征には反対で，"無体な所業"であると論している。**
方広寺大仏殿1593＝22歳：祖父正親町上皇が死去。秀吉の次子秀頼が誕生。**_豊臣秀次からの「六国史」や律令をはじめとする典籍など，諸侯から文献が献上されるとともに，生涯初の「源氏物語」の書写を発起するなど，禁裏文庫の充実にも専念し始める。秀吉から，文禄の役で日本に持ち帰られた李朝銅活字の器具と印刷書籍を献上されて，「古文孝経」を印刷，日本での銅活字を用いた最初の印刷とされる。**
ﾙｿﾝ島通交・ 1594＝23歳：秀吉が伏見城に移る。
関白秀次事件1595＝24歳：秀吉が秀次から関白職を剥奪し，秀次一族惨殺後，「御掟・御掟追加」を定める。実枝孫の三条西実条から細川幽斎の講釈書「詠歌大概抄」が進上される。同家から献上を受けた「伊勢物語」「三部抄」の注釈書，「源氏物語」の一条兼良の注釈書「花鳥余情」を自ら書写。
26聖人殉教・1596＝25歳：秀吉が秀頼を伴って参内し，伏見城で惣礼。平井相助の注釈書「千鳥抄」を自ら書写。秀吉に切腹を命じられた豊臣秀次の菩提を弔う日秀尼(秀次の母，秀吉の姉)に，瑞龍寺(滋賀)の寺号を与え，瑞龍寺は"村雲御所"として日蓮宗唯一の門跡寺院になって行く。
慶長の役・・1597＝26歳：***自ら撰した「和歌方輿勝覧」をもとに，廷臣を動員して「名所和歌」を編纂。李朝銅活字に倣って大型木活字による勅版「錦繍段」を開版(慶長勅版)。自著「日本紀神代巻」「古文孝経」「職原抄」なども刊行している。**
豊臣秀吉没・1598**＝27歳：**_体調を崩し，豊臣政権に，摂関家の反対を押して，皇弟の八条宮への譲位の意向を伝える。秀吉はすでに没して，五大老の意見も分かれたが，最終的には徳川家康から譲位は無用との奏上される。
前田利家没・1599＝28歳：秀頼が伏見城より大坂城に移る。**_その後，病も回復。秀吉の神格化については，遺志であった"新八幡・正八幡"は認めず，"豊国大明神"の神号を下す。室町将軍とほぼ同じ形式で，参内した家康と対面後，諱を周仁と改める。この間，朝廷内の風紀が乱れ，久我敦通と勾当内侍の醜聞に対し，禁裏内での掟を定める。**
関ヶ原の戦・1600＝29歳：会津征伐に向かう家康に勅使を送り，さらし100反を贈る。正親町天皇の勅勘を被り出奔していた冷泉家当主為満が，家康の取成しで勅免・参内し，定家の「拾遺愚草」を献上。**_関ヶ原の戦いでは，丹後田辺城で西軍と交戦中の細川幽斎を惜しみ，両軍に勅命を発して開城させ，八条宮に古今伝授を受けさせ，"歌道尊重の帝王"の名を残す。関白・左大臣に九条兼孝が還任し，20余年中絶していた年中行事の叙位を再開，**
朱印船制始・1601＝30歳：日記「後陽成天皇宸記」。禁裏御料の増額と山城国内への移転が行われ，禁裏御料は1万石となった。良仁親王を強引に仁和寺で出家させて，もともと後を継がせたかったとい第三皇子政仁親王を儲君として立てる。
***豊臣秀頼を大納言に，秀忠を大納言に任じたのに対し，家康が参内し，禁裏・公家等の領地を定め，天皇と豊臣家の接近を防ぐため，板倉勝重を京都所司代に任じて天皇の動きを監視，**
東本願寺創建1602＝31歳：家康に源氏長者補任の意向を示すも，固辞される(もともと源氏ではなかったと考えられる)。
阿国歌舞伎始1603＝32歳：**_家康を征夷大将軍に任じ，江戸幕府が開かれる。幕府が武家伝奏を設けて更なる監視態勢を整えるなか，掟を強化するが，禁裏内の風紀粛正は達成されず，**
糸割符法始・1604＝33歳：以後4年かけて「源氏物語」を講じて，冷泉為満が「源氏物語聞書」を遺すなど，自ら宮人に講じるほどに。
徳川家康隠居1605＝34歳：**_秀頼を右大臣に，秀忠を将軍に任ずると，譲位の意向を示し，家康も了承して，仙洞御所の造営開始。**
江戸城完成・1606＝35歳：家康から武家の官位は幕府の推挙とするよう奏請される。家康は東下し，以後5年，上洛せず。
家康駿府退隠1607**＝36歳：**「百人一首抄後陽成天皇御注」「伊勢物語愚案抄」。翌年にかけて，**_冷泉家，山科家から和歌資料の進上を集中的に受けて，禁裏本歌書群を充実させる。**
・・・・・・1608＝37歳：**_家康から，政仁親王に徳川秀忠の娘和子の入内を打診され，先例のないことと認めなかったが，**
島津琉球支配1609＝38歳：**_宮中女官の密通事件が相次いで発覚，首謀者とされた猪熊教利と兼康頼継は逃亡(猪熊事件)，激怒した天皇は被疑者らの極刑を強硬に主張し，摂家衆もこれに同意して，所司代板倉勝重に伝えられたが，慎重に扱う家康の意向が朝廷に伝えられて，自ら処罰することを諦め，家康の裁断に任せると回答。勝重の裁定で猪熊・兼康が処刑されたものの，公家衆5人と女官5人・女孺2人を蝦夷や伊豆新島などへ配流するに留まり，**
琉球使始・・1610＝39歳：**_さらに家康から，七ヵ条を，親王元服等につき三ヵ条を申し入れられて，幕府に屈したものと不満を抱き，女院とも意志の隔たりを生んで，側近の公家衆や生母，皇后とも逢うことも少なくなって孤独の中で暮らすようになり，譲位の意向を家康に伝達，政仁親王への譲位は家康の了解を得て，内定するが，**
山田長政渡航1611＝40歳：**_家康が五女市姫の死去を理由に譲位延期を要請してきて，激怒するも従わざるを得ず，譲位に従う政仁親王の元服の期日などにも介入してきて，いよいよ不興，朝幕関係の悪化を憂いた摂家衆の必死の説得で，抵抗を諦める。譲位後，2000石の仙洞御料が進献されたが，十分でなく，後水尾天皇との関係は悪く，天皇に引き渡すべき品物を渡そうとしなかったため，生母新上東門院が家康に報告するも，なお抵抗，**
ｷﾘｽﾄ教禁止・1612＝41歳：**_家康から，後水尾天皇に引き渡すよう指示され，秀忠の娘和子(東福門院)の入内を，再度申し入れられ，**
支倉常長渡欧1613＝42歳：**_公家を取締るための公家衆法度が制定され，官位の叙任権や元号の改元も幕府が握る事となっていき，**
大坂冬の陣・1614＝43歳：**_これを許可するに至ると，全てを忘れたいかのように，以後，書写活動に没頭し，廷臣の歌道教育の基礎文献としての書籍が整備され，近世禁裏文庫が確立。あわせて，「伊勢物語」「詠歌大概」など，古典学，歌学の講釈をし，西洞院時慶へ古今伝授を行うなどしながら，**
徳川家康没・1616**＝45歳：**
吉原遊郭始・1617＝46歳：**_家康の後を追うように，崩御した。**
葬儀は火葬で行われた。次代の後水尾天皇から昭和天皇までは全員が土葬なのでので，現在において最後に火葬で葬られた天皇である。禁裏文庫に収められた大量の古典籍は，崩御後，後水尾天皇に引継がれた。

Wikipedia，藤井譲治「天皇と天下人」，酒井茂幸「後陽成天皇の収書活動について」，